平成二十八年度

中学校・高等学校【国　語】解答用紙

（その一）

各2点×19

一

問一	(一) かいしゃ	(二) ついしょう
	(三) ぎょうそう けいそう	(四) しんしゃく
問二	(一) 更迭	(二) 発端
	(三) 歪曲	(四) 費
問三	(一) 虚心 坦懐	(二) 自由 奔放
問四	記号 イ	総称 六書
問五	一上方	
問六	(一) イ	(二) オ
問七	イ	エ
問八	(一) ア	(二) ウ

一　38点

二

問一　イ　4点

問二　伴侶　3点

問三　学校の教科書の文法では、打消の助動詞「ない」は動詞・助動詞の未然形に接続するとなっている。動詞「来る」の未然形は「こ」であるので「こない」という言い方になる。したがって、「きない」という言い方は間違っている。　8点

問四　あらゆる文法は「文法」であるかぎり、それ／それに正しくも誤りもないということ　5点

問五　カスティリヤ語（ラテン語も可）　5点

問六　俗語とは生まれて自然に身につけていくものであり、学習しなくても理解できるものである。一方、文法とは理解できない言語を学習せねばならない人のためのものであり、両者を同時に用いると筋が通らなくなるから。　10点

問七　（例）方言、外国語（一つでよい）　5点

二　40点

受験番号		得点 その一	78点

平成二十八年度

中学校・高等学校【国　語】解答用紙

（その二）

三

問一　ア　2点

問二　是非曲直　2点

問三　オ　4点

問四　交換可能な衣装であてがわれる身分で生きるような空虚な人生を生きるのではなく、身体性を伴い、自らの精神で行動し、自分自身の命を実感する人生こそ実体のあるものであり、自分はその生き方を選びたいという思い。　10点

問五　（例）御覧になりませんでしたか・見られませんでしたか　4点

問六　観念でしかない身分に安住したり、束縛されたりして生きる世の中を、誰もが平等に、かつ自らの意志にもとづき、自由に生きていける世の中にかえるということ。　10点

問七　ウ　4点

問八　イ　4点

三　40点

四

問一　くりかえしうたいける　2点

問二　ア　3点

問三　（例）なさけなく思った　3点

問四　刑部卿敦兼　3点

問五　北の方　3点

問六　B　ニ　そ　C　や　各2点×2

問七　ませ垣の中の白菊が枯れてしまったように、私が通って連れ添っていたあなたの心も私から離れてしまったことよ。　8点

問八　〔作者名〕エ　〔時代〕ウ　各2点×2

四　30点

受験番号		得点その二	70点

平成二十八年度

中学校・高等学校【国　語】解答用紙

（その三）

五

問一　けだし　シ　2点

問二　人をして不平ならしむ・人をして平らかならざらしむ　4点

問三

(一)　以レ此常欲下焚二棄筆硯一為中瘖黙之上人　4点

(二)　自分の書く文章で世間に名を知られると、そのぶん人々からねたまれることになる。ため、むしろ文章など書かずに気楽に過ごす方がよいという思い。　8点

問四　ア　4点

問五

(一)　本物、にせもの、俗人に書き直されたもの　3点

(二)　昔から、本物を見分けられる人材が少ないから。　4点

問六　エ　3点

五　32点

六

問一

A　意図

B　社会生活

C　評価

D　展開

E　向上

問二

A　表現

B　理解

C　伝え合う

D　想像

E　言語感覚

各2点×10

六　20点

受験番号		得点その三	52点	得点合計	200点